

令和3年度

市政モニターアンケート調査結果
【長崎版地域包括ケアシステム・人生会議について】



長 崎 市

地域包括ケアシステム推進室

1. 調査の目的

長崎市の高齢者人口がピークを迎える 2025 年（令和 7 年）に向けて、「長崎版地域包括ケアシステム」の構築を進めていますが、市民の皆さまの現段階における地域包括ケアシステム（※1）の構築に関する認知度を調査したい。

また、市民の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、人生の最終段階における医療やケアについて、元気なうちから考え、家族等や医療・介護関係者と話し合うきっかけづくりとして作成した「元気なうちから手帳」や人生会議（※2）についての認知度についても調査を行い、今後の「長崎版地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組みや普及啓発の検討材料として有効活用するため調査を実施しました。

※1 地域包括ケアシステムとは：健康なときも要介護になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、それぞれの地域で医療・介護・介護予防・住まい・生活支援等がその人の生活や身体状況にあわせて確保される体制のこと。

※2 人生会議（ACP）とは：もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、家族などと共有する取組みのこと。

2. 調査の概要

調査期間：令和 3 年 11 月 18 日 ～ 令和 3 年 12 月 2 日

送付数：227 人（郵送モニター 180 人 インターネットモニター 47 人）

回答率：61.2%（139 人）

（郵送モニター 116 人 インターネットモニター 23 人）

3. 調査結果

今回の調査では、「地域包括ケアシステム」の認知度については、「知らない」と答えたかたが、約 30% で、約 70% のかたは「言葉」として知っており、そのうち約 34% のかたは「言葉も内容も知っている」と回答され、「知らない」と答えたかたを上回りました。

「言葉も内容も知っている」と答えたかたのうち、「地域包括ケアシステムはできている」と答えたかた（「できている」又は「どちらかといえばできている」と答えたかたの合計）が約 66% で、「できていない」と答えたかた（「できていない」又は「どちらかといえばできていない」と答えたかたの合計）や「わからない」と答えたかたを上回っており、「地域包括ケアシステム」の仕組みづくりについて、理解しているかたが増えると、構築が進んでいる現状も理解していただけると推測されます。

また、年代別にみると、70 代以上では、「地域包括ケアシステム」の認知度が高く、周知が進んでいると考えられますが、30 代以下では「知らない」と答えたかたの割合が多く、40 代・50 代に比べて 60 代に「知らない」と答えたかたが約 40% と多いことなど、2025 年に向けて若い世代への周知のあり方や元気な高齢世代への周知のあり方など、普及啓発の方向性や課題が明らかになってきました。

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）については、「人生会議を知らない」と答えたかたが約 78%で、「知っている」と答えたかた（「言葉も意味も知っている」又は「言葉は聞いたことはあるが意味は知らない」と答えたかたの合計）を大きく上回っており、市民の皆さまへの周知は進んでいない状況です。

一方で、「もしものとき」のことを考え、家族と話し合ったことがあるかたは 25.4%、「もしものとき」のことを考えたことはあるが、話し合ったことはないかたは 63.8%と、「人生会議」という言葉を知らなくても、人生会議の経験がある、人生会議の必要性を認識しているかたが多いことがわかりました。

また、「元気なうちから手帳」については認知度が 2.9%と市民の皆さまにはほとんど普及していないこともわかりました。

これらのことから、人生会議のきっかけづくりとなる「元気なうちから手帳」を活用した人生会議の普及啓発に努める必要があると感じました。

4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100 パーセントに合致しない場合があります。

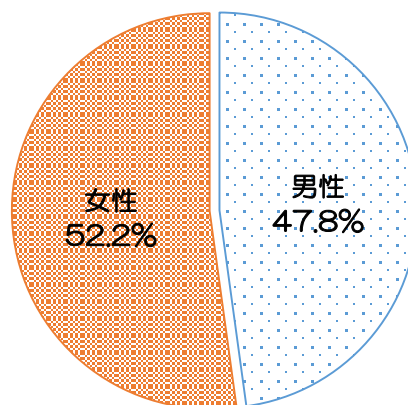
また、複数回答可とした設問においては、合計が 100 パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

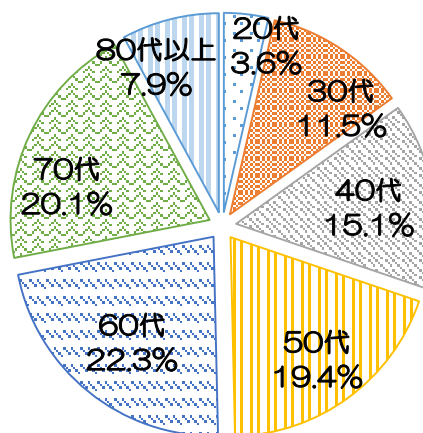
選択肢	回答者数	割合
男性	66人	47.8%
女性	72人	52.2%
合計	138人	100.0%

(無回答1人)



問2 あなたの年齢を選択してください。

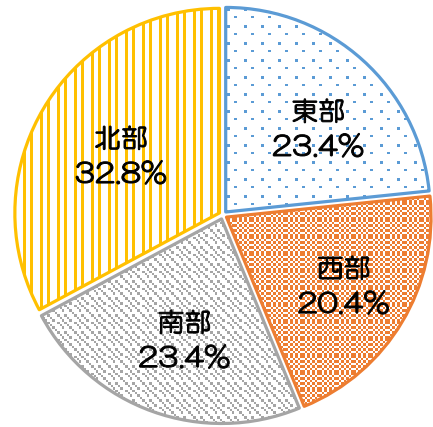
選択肢	回答者数	割合
20代	5人	3.6%
30代	16人	11.5%
40代	21人	15.1%
50代	27人	19.4%
60代	31人	22.3%
70代	28人	20.1%
80代以上	11人	7.9%
合計	139人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	32人	23.4%
西部	28人	20.4%
南部	32人	23.4%
北部	45人	32.8%
合計	137人	100.0%

(無回答2人)



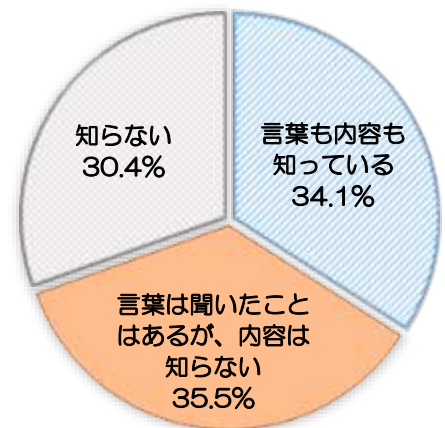
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

【地域包括ケアシステムの認知度について】

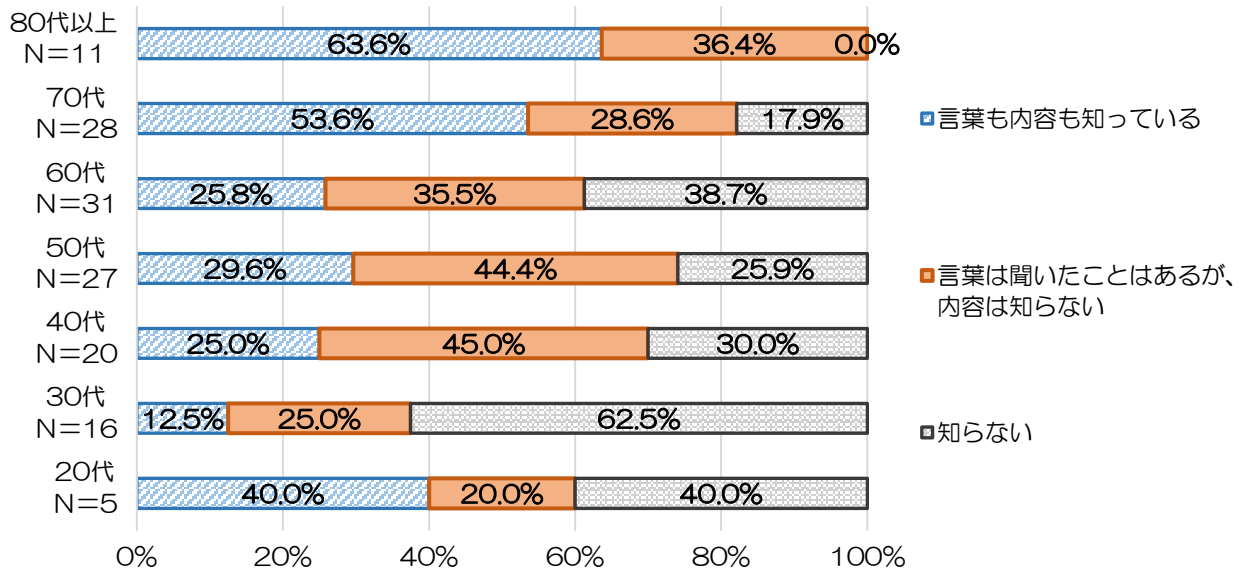
問10「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
言葉も内容も知っている	47人	34.1%
言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない	49人	35.5%
知らない	42人	30.4%
合計	138人	100.0%

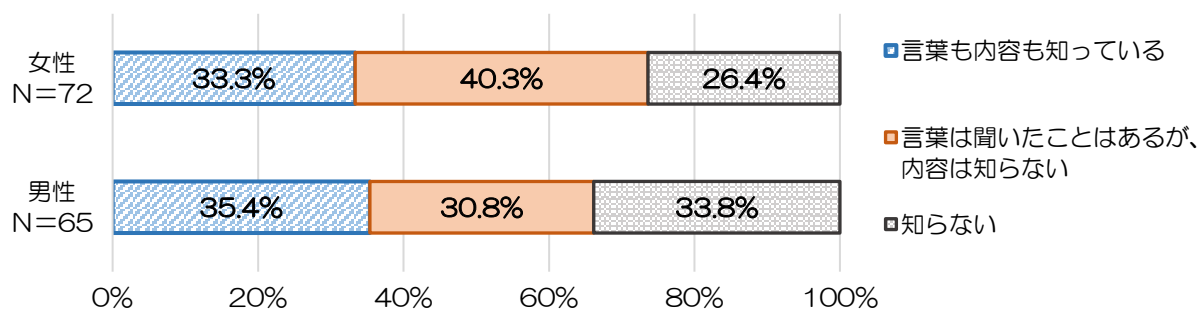
(無回答 1名)



〈年齢別割合〉

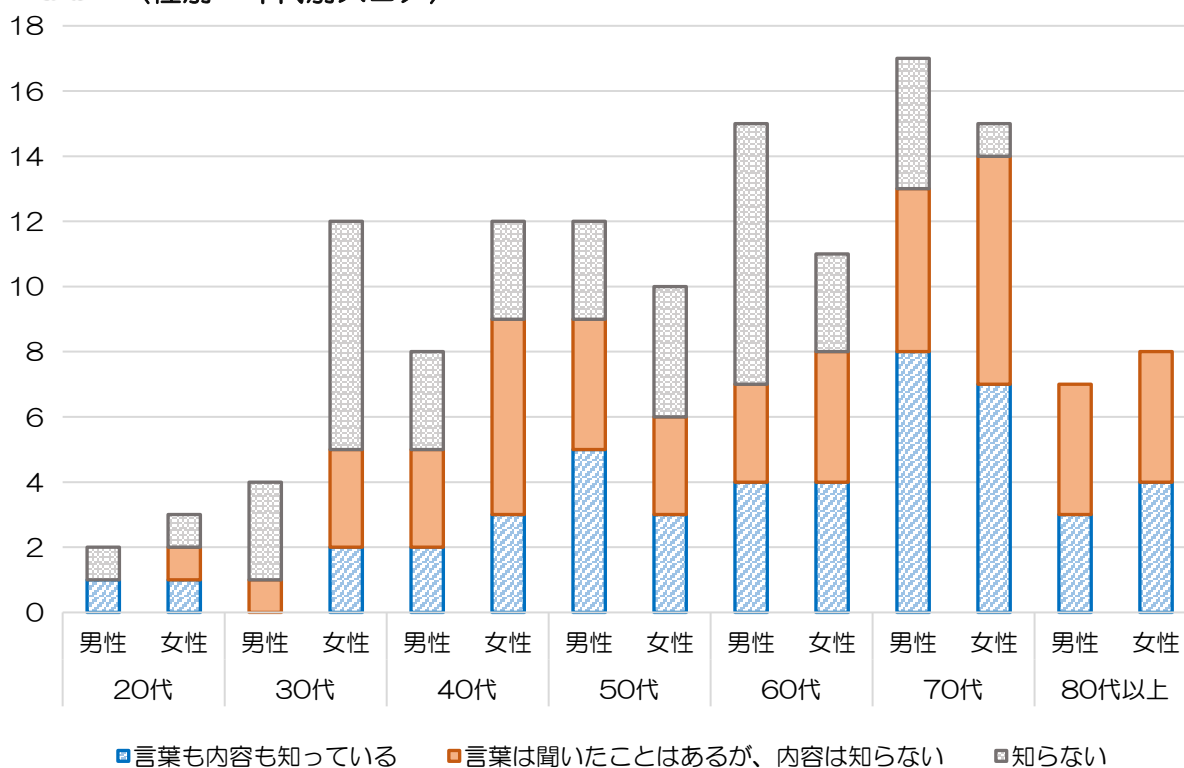


〈性別割合〉



「地域包括ケアシステムを知っていますか」に対する回答者の性別・年代別スコア

(人) 〈性別・年代別スコア〉



「地域包括ケアシステム」について、言葉も内容も知っているかたが約34%で、性別では「知らない」と答えたかたは男性の割合が高く、50代・70代男性は「知っている」と答える割合が高かった一方、60代男性は「知らない」と答える割合が高くなっています。

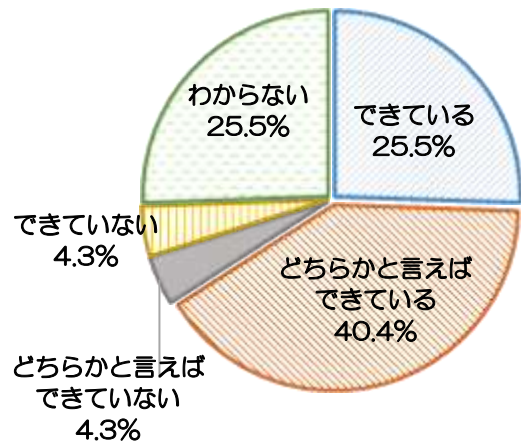
また、女性では、60代・70代で「知らない」と答えたかたの割合が低く、80代以上は男女とも「知らない」と答えかたがないという結果でした。

超高齢社会の中、「団塊の世代が後期高齢者となる2025年」に向けて「地域包括ケアシステムの構築」を進めているという背景もあり、身近に関係してくる問題として高齢者や高齢者を介護する世代への周知は進んできていると感じました。

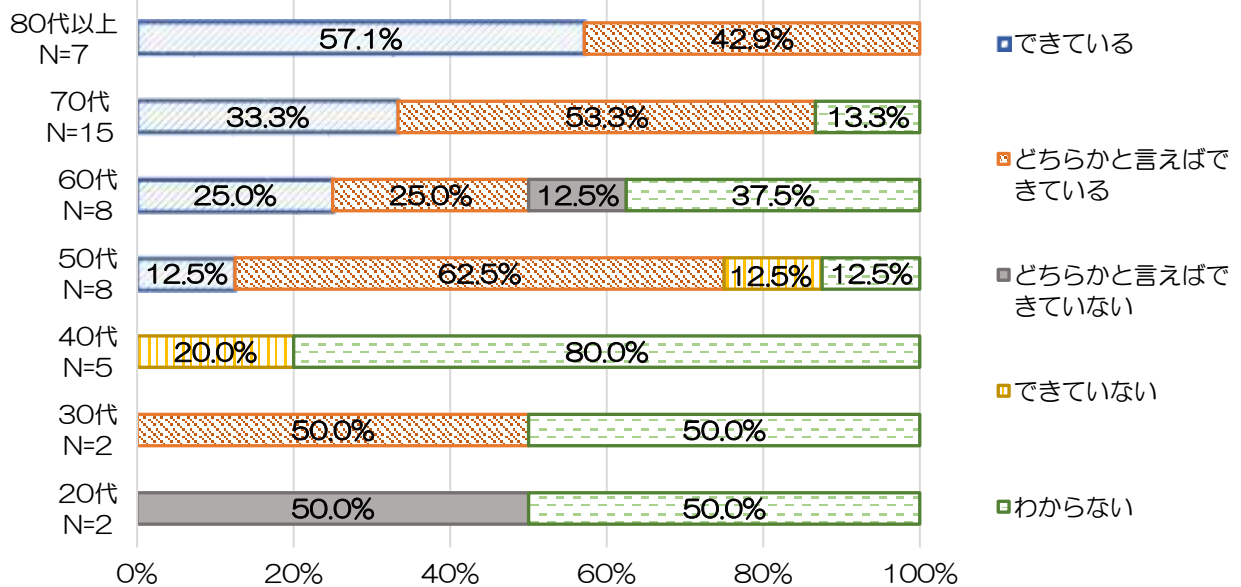
問 11 「問 10」で「1 言葉も内容も知っている」と答えたかたに質問です。

あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」はできていると思いますか。(当てはまるもの1つ回答)

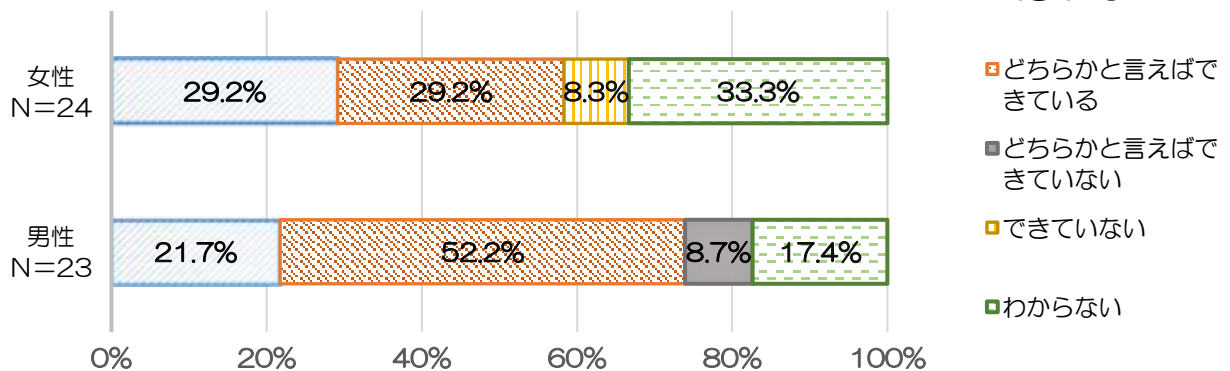
選択肢	回答者数	割合
できている	12人	25.5%
どちらかと言えばできている	19人	40.4%
どちらかと言えばできていない	2人	4.3%
できていない	2人	4.3%
わからない	12人	25.5%
合計	47人	100.0%



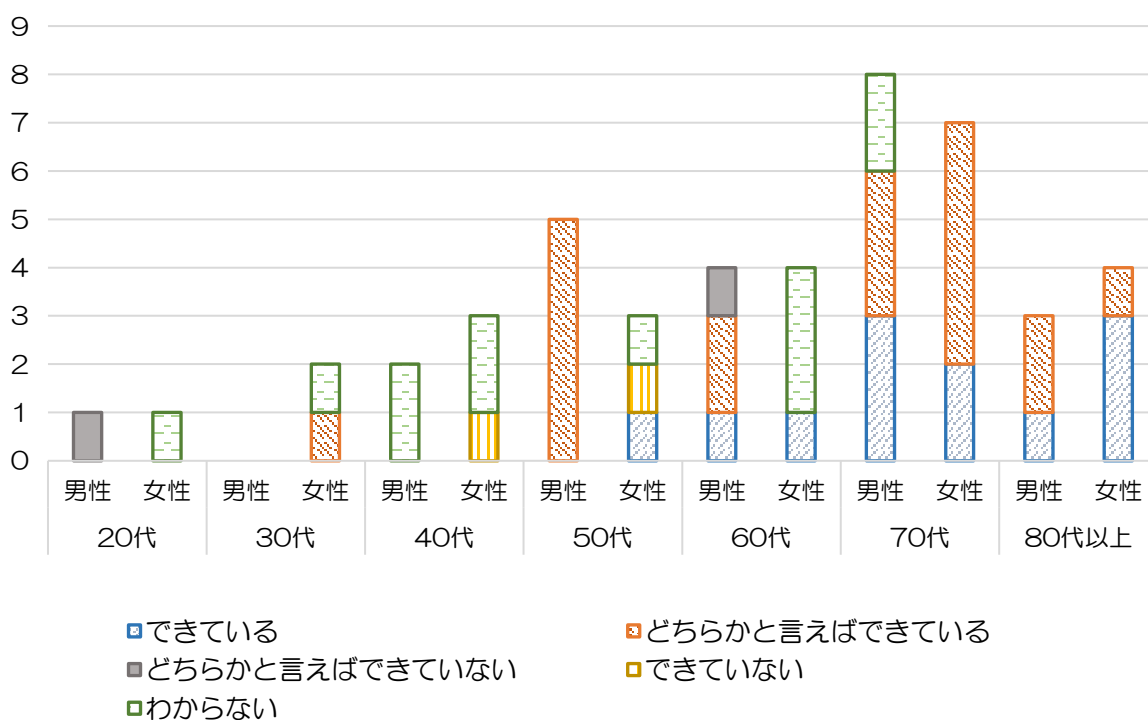
〈年齢別割合〉



〈性別割合〉



(人) 性別・年代別スコア

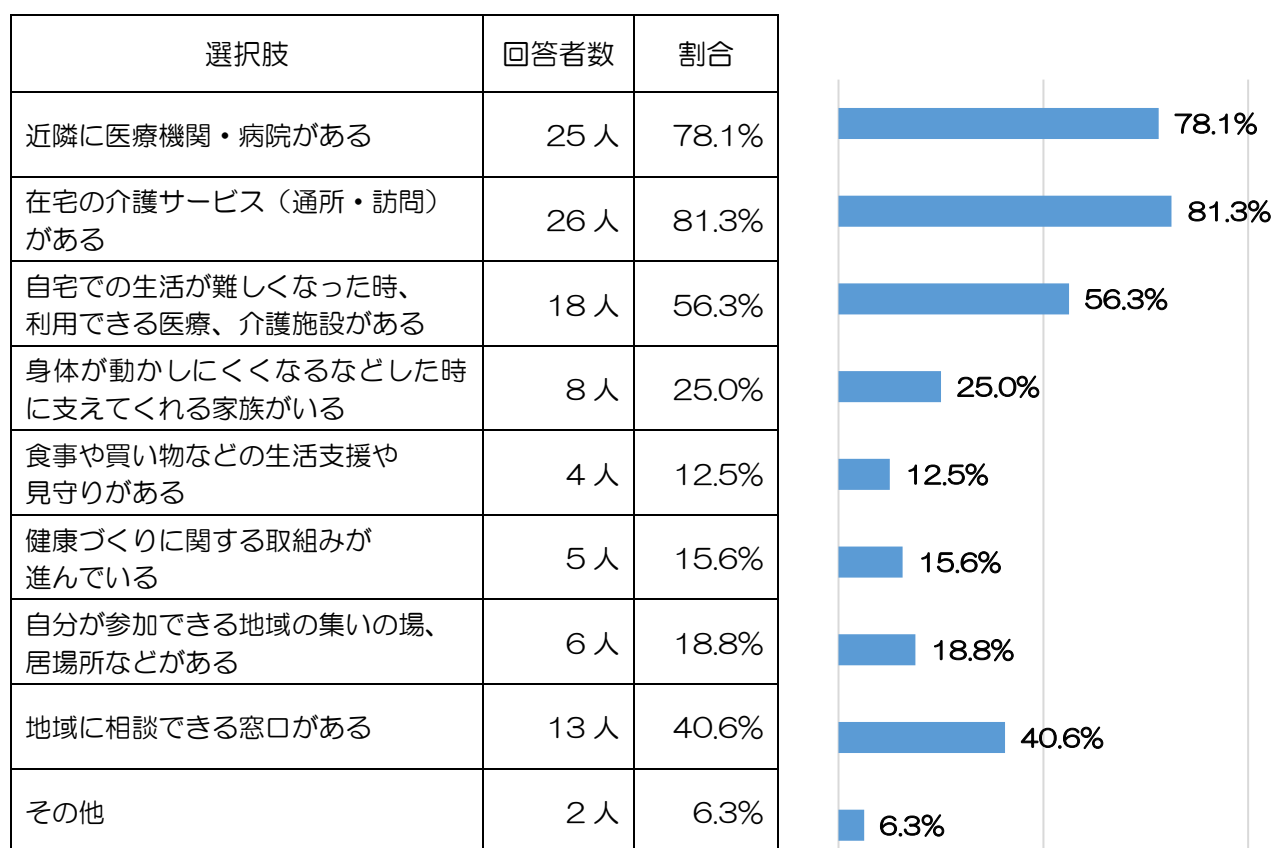


地域包括ケアシステムについて「言葉も内容も知っている」と答えたかたのうち、システムが「できている」又は「どちらかといえばできている」と答えたかたは、男性の割合が高く、女性は「わからない」と答えたかたの割合が約33%と男性より高い結果でした。

年代別では、20代男女、40代男女は「できている」又は「どちらかといえばできている」と答えたかたがなく、50代男性、70代女性、80代男女は「できていない」「どちらかといえばできていない」「わからない」と答えたかたがいませんでした。

制度の周知とともに「地域包括ケアシステム」の構築を実感できる取り組みが必要であると感じました。

問 12 「問 11」で「1 できている」、「2 どちらかと言えばできている」と答え
たかたに質問です。あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」がで
きていると実感するのは次のどの点ですか。（複数回答可）



回答者数=31 人 有効回答数=107

※「その他」の意見

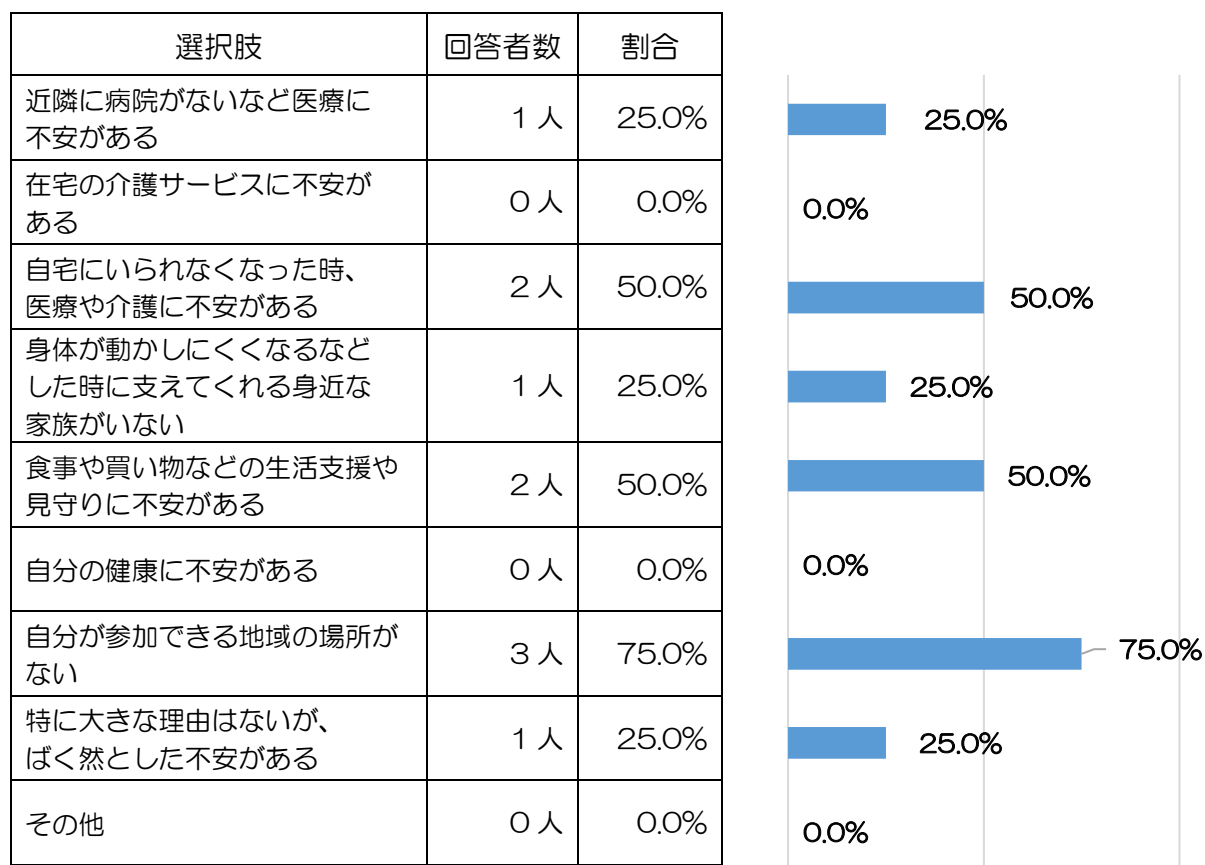
- ・近所づきあいがうまくいっている。自治会の役員をしている。
- ・デイサービスに勤める介護職についている。

「できている」と答えたかたが実感できる点として一番多かったのが「在宅の介護サービスがある」、次に「近隣に医療機関・病院がある」の2項目で約80%あり、医療・介護サービスの充実をあげていることがわかりました。

一方、「食事や買い物などの生活支援や見守りがある」「健康づくりに関する取組みが進んでいる」「自分が参加できる地域の集いの場、居場所などがある」との回答の割合が低い結果となりました。

問 13 「問 11」で「3 どちらかと言えはできていない」「4 できていない」と答えたかたに質問です。

あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」ができていないと実感するのは次のどの点ですか（複数回答可）



回答者数＝4人 有効回答数＝10

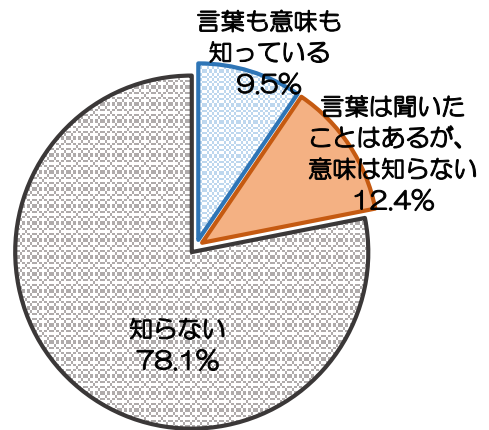
回答数は少なかったものの、「できていない」と答えたかたが実感する点として、「自分が参加できる地域の場所がない」「食事や買い物などの生活支援や見守りに不安がある」という項目は、問 12 の「できている」と実感する割合が少なかった「食事や買い物などの生活支援や見守りがある」「健康づくりに関する取り組みが進んでいる」「自分が参加できる地域の集いの場、居場所などがある」の項目と一致しており、今後、取り組みの充実を急ぐ必要があると感じました。

【人生会議（ACP、アドバンス・ケア・プランニング）について】

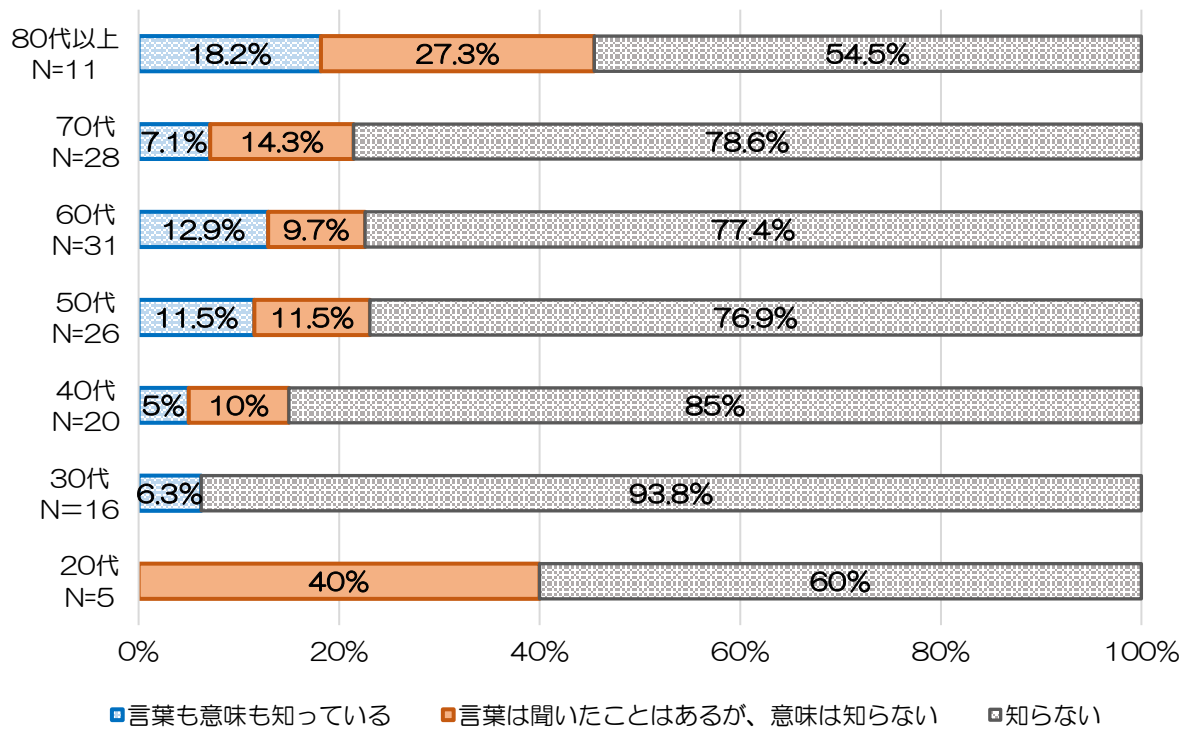
問 14 人生会議を知っていますか。（当てはまるもの1つ回答）

選択肢	回答者数	割合
言葉も意味も知っている	13人	9.5%
言葉は聞いたことはあるが、意味は知らない	17人	12.4%
知らない	107人	78.1%
合計	137人	100.0%

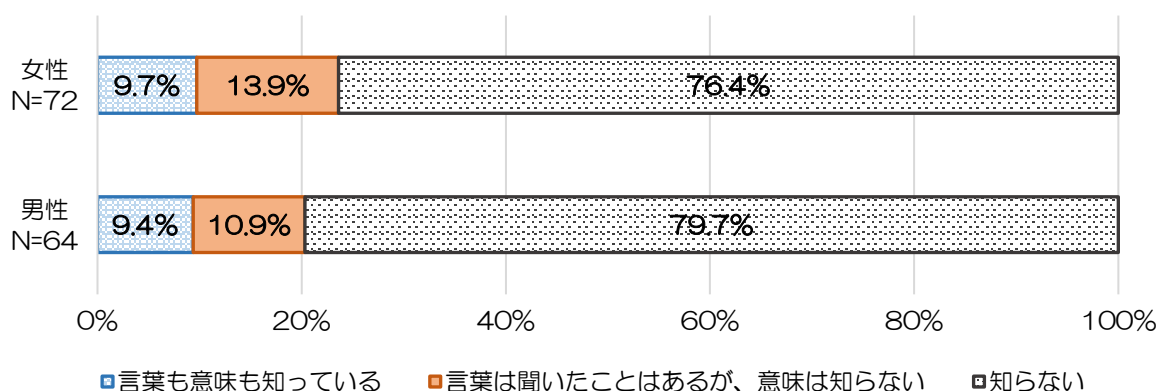
（無回答2人）



<年齢別割合>



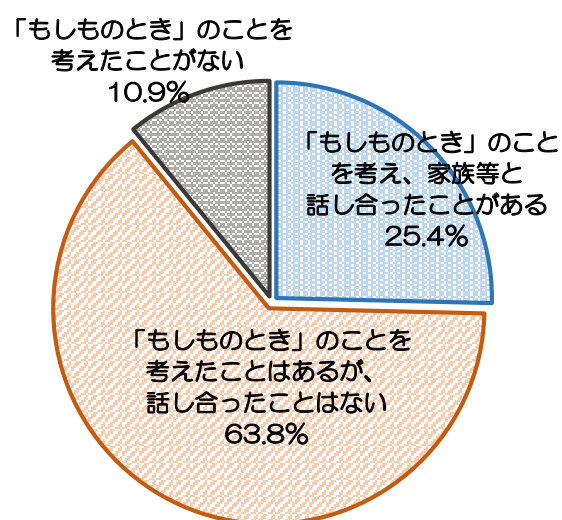
<性別割合>



人生会議を知らないと答えたかたが全体の約78%を占めていることがわかりました。また、性別による差は見られませんでした。年齢別では20代では「言葉も意味も知っている」と答えたかたはおらず、年代が上がるにつれ割合が増える傾向にありました。

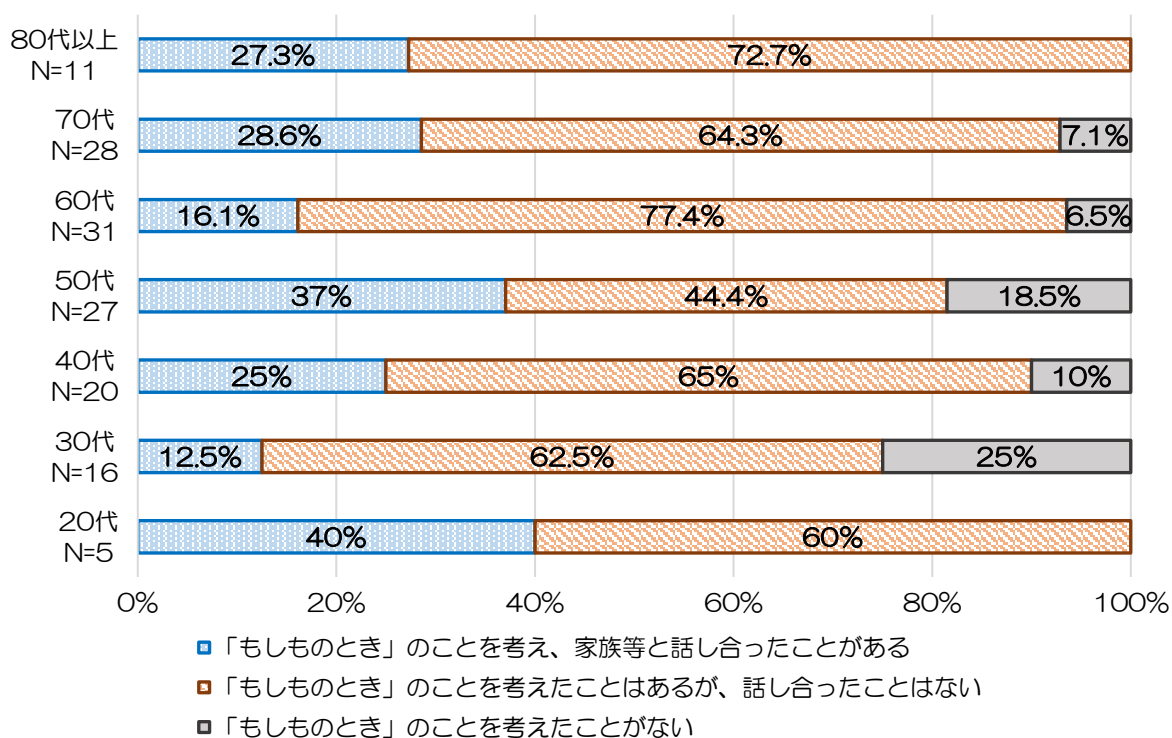
問 15 ご自身やご家族の「もしものとき」のことを話し合ったことがありますか。
(人生会議(ACP)をしたことがありますか。)(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
「もしものとき」のことを考え、家族等と話し合ったことがある	35人	25.4%
「もしものとき」のことを考えたことはあるが、話し合ったことはない	88人	63.8%
「もしものとき」のことを考えたことがない	15人	10.9%
合計	138人	100.0%

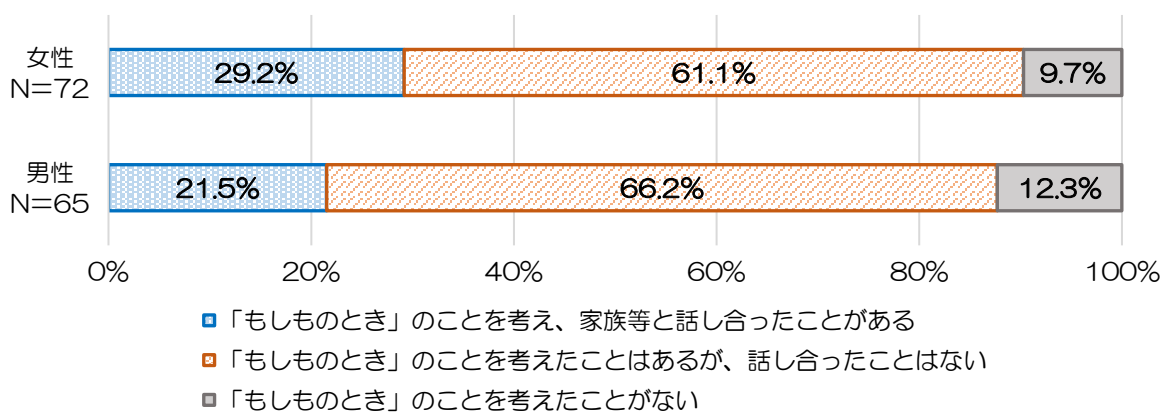


(無回答1人)

<年齢別割合>



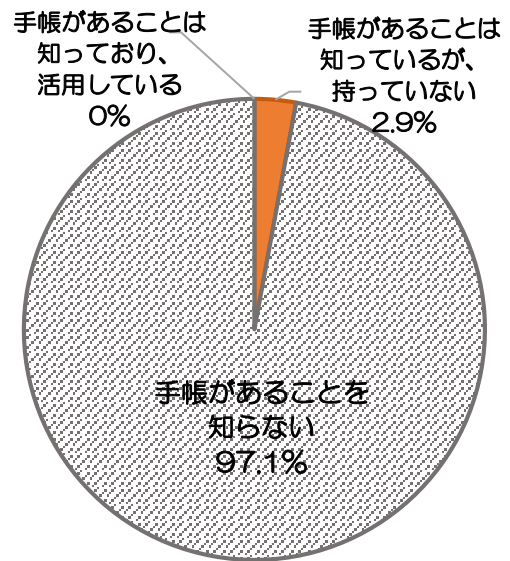
<性別割合>



「もしものとき」のことを考えたことはあるが、話し合ったことはないと答えたかたが全体の約64%を占めていることがわかりました。また、「もしものとき」のことを考え、家族等と話し合ったことがあると答えたかたは約25%で、4人に1人が人生会議をした経験があることがわかりました。

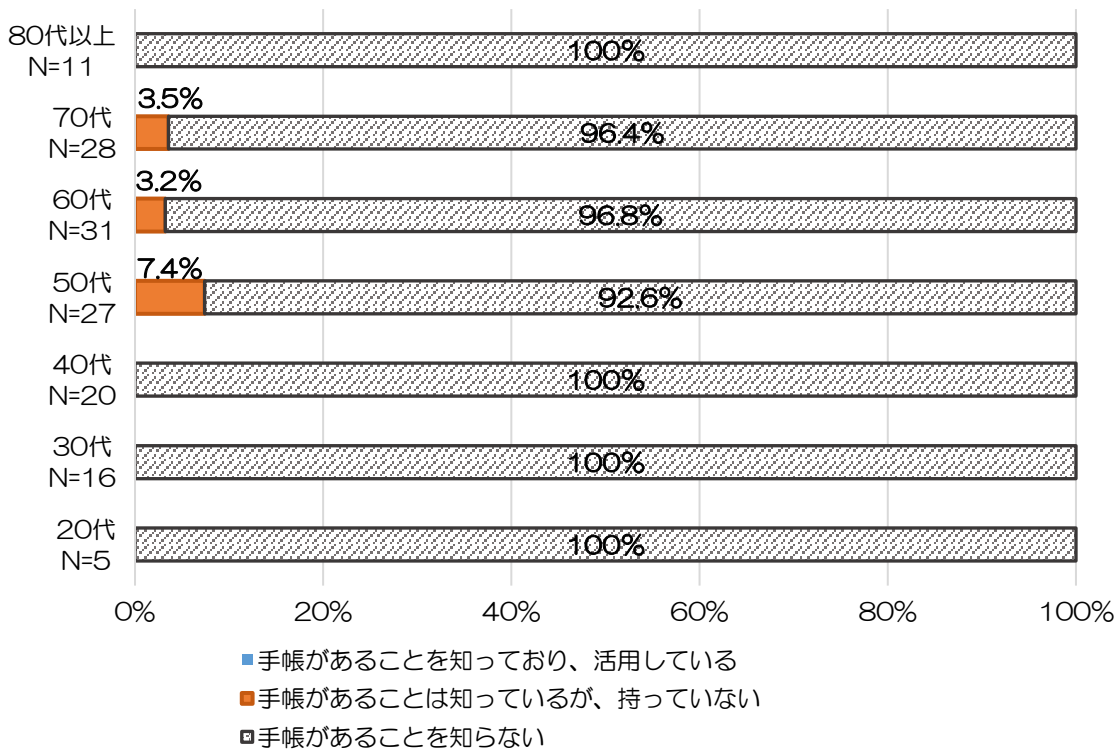
問 16 長崎市が人生会議（ACP）のきっかけづくりのために作成した「元気なうちから手帳」を知っていますか。（当てはまるもの1つ回答）

選択肢	回答者数	割合
手帳があることを知っており、活用している	0人	0.0%
手帳があることは知っているが、持っていない	4人	2.9%
手帳があることを知らない	134人	97.1%
合計	138人	100.0%

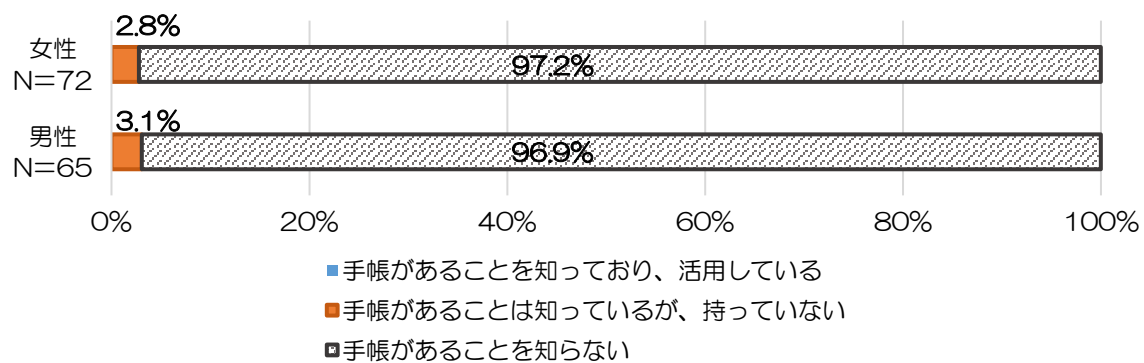


（無回答1人）

<年齢別割合>



<性別割合>



「元気なうちから手帳」については、手帳があることを知らないと答えたかたが約97%でした。特に20~40代のかたは全く知らないという結果でした。

参考 調査票

『地域包括ケアシステムについて』

問 10 「地域包括ケアシステム」を知っていますか。

(当てはまるもの1つ回答)

【「地域包括ケアシステム」とは：健康なときも要介護になっても住み慣れた地域で、できる限り人生の最期まで暮らし続けられるよう、医療・介護・生活支援等を一体的に提供する仕組みづくり】

- 1 言葉も内容も知っている
- 2 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない

問 11 「問 10」で「1 言葉も内容も知っている」と答えたかたに質問です。

あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」はできていると思いますか。(当てはまるもの1つ回答)

- | | | |
|------------------|---|------------------|
| 1 できている | } | →【問 12 へお進みください】 |
| 2 どちらかと言えばできている | | |
| 3 どちらかと言えばできていない | } | →【問 13 へお進みください】 |
| 4 できていない | | |
| 5 わからない | → | →【問 14 へお進みください】 |

問 12 「問 11」で「1 できている」、「2 どちらかと言えばできている」と答えたかたに質問です。あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」ができていると実感するのは次のどの点ですか。(複数回答可)

- 1 近隣に医療機関・病院がある
- 2 在宅の介護サービス(通所・訪問)がある
- 3 自宅での生活が難しくなった時、利用できる医療、介護施設がある
- 4 身体が動かしにくくなるなどした時に支えてくれる家族がいる
- 5 食事や買い物などの生活支援や見守りがある
- 6 健康づくりに関する取組みが進んでいる
- 7 自分が参加できる地域の集いの場、居場所などがある
- 8 地域に相談できる窓口がある
- 9 その他()

問 13 「問 11」で「3 どちらかと言えばできていない」「4 できていない」と答えたかたに質問です。

あなたのお住まいの地域の「地域包括ケアシステム」ができていないと実感するのは次のどの点ですか（複数回答可）

- 1 近隣に病院がないなど医療に不安がある。
- 2 在宅の介護サービスに不安がある。
- 3 自宅にいられなくなった時、医療や介護に不安がある。
- 4 身体が動かしにくくなるなどした時に支えてくれる身近な家族がいない。
- 5 食事や買い物などの生活支援や見守りに不安がある。
- 6 自分の健康に不安がある。
- 7 自分が参加できる地域の場所がない。
- 8 特に大きな理由はないが、ばく然とした不安がある。
- 9 その他（)

問 14 人生会議（ACP: アドバンスケア・プランニング）を知っていますか。

（当てはまるもの1つ回答）

【「人生会議」とは：人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み】

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は聞いたことはあるが、意味は知らない
- 3 知らない

問 15 ご自身やご家族の「もしものとき」のことを話し合ったことがありますか。

（人生会議（ACP）をしたことがありますか。）（当てはまるもの1つ回答）

- 1 「もしものとき」のことを考え、家族等と話し合ったことがある
- 2 「もしものとき」のことを考えたことはあるが、話し合ったことはない
- 3 「もしものとき」のことを考えたことがない

問 16 長崎市が人生会議（ACP）のきっかけづくりのために作成した「元気なうちから手帳」を知っていますか。

（当てはまるもの1つ回答）

- 1 手帳があることを知っており、活用している
- 2 手帳があることは知っているが、持っていない
- 3 手帳があることを知らない